

第5回

株式会社イチムラ

「イチムラ」の名前を目にした記憶はありませんか？学校で同社の椅子や机を使っていた人は多いでしょう。今回は、工栄町のイチムラ統括本部で吉岡副社長にお話を伺いました。



品質とアフターサービスで差別化

吉岡副社長 「イチムラ」は、学童用の椅子や机から始まった会社でして、現在でも江別工場で製造しています。2014年には関東にも拠点となる工場を置きまして、ホテルや病院、福祉施設に向けた調度品の製造にも力を入れています。最近、カタログに載せた製品の販売よりも、一品もので図面から作ることが多くなってきていますね。

三好市長 建物に合わせたオーダーメイドですね。

吉岡副社長 まず試作品を作って、意見交換をしながら製品にしていきます。幼稚園や保育園、老健施設などはそういうやり方が多いですね。

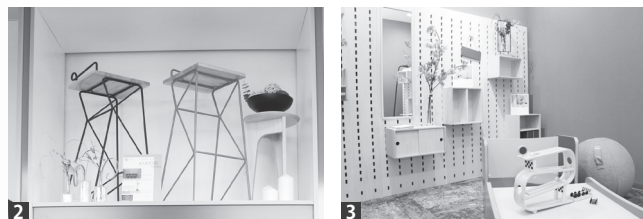
三好市長 確かに、備え付けの木製家具がずいぶんありますね。

吉岡副社長 そうです。近年は安い外国産の家具が入っていますが、値段で勝負するのではなく、そういった品質やアフターサービスを向上させることで支持を得ています。

三好市長 アフターサービスですか。

吉岡副社長 例えば学校の椅子ですが、背板や座板は傷みますので、程度によっては部品を補償交換することもあります。そうして長期間使っていただけるようにしています。これらの椅子や机を使っている小学生が工場見学に来られまして、お礼のお手紙をいただきました。

三好市長 それはうれしいでしょう。



1.見学も受け入れている広い工場内 2.「あやとり」をイメージした椅子は道の駅「あいーと厚田」で使用 3.位置を変えられる棚などアイデア家具も展示

吉岡副社長 実際に製品を使われているお客さまから直接声をいただけるのは本当にうれしいです。

要望に応じた商品開発

三好市長 市役所では、「立ち会議」用のデスクでイチムラさんのものを使用しています。「会議にかかる時間が短縮された」、「活発に意見が出るようになった」という声がありました。それから、使っていく中でももっとこうだったら使いやすいという意見も出ていました。

吉岡副社長 私どもには設計のできるスタッフがおります。使う方の声を聞きながら改良していくことができますので、そういったご意見はありがたいです。

三好市長 地元で作られた製品が地元で活用されていくとうれしいですね。

企業情報 株式会社イチムラ

統括本部所在地 工栄町22-1 従業員数 105名(R2.1現在)
主な事業 教育・オフィス・一般用家具販売、展示会・博覧会の企画・施工、各種産業機器の製造・販売
〔詳細〕企業立地課 ☎ 381-1087
TOP 対談の詳細は市ホームページで公開中です。



編集後記 担当者のこぼれ話

▶広報広聴課では今や当たり前となった立ち会議ですが、導入当初は5分も話していたら脚がだるくなっていました…。しかし！導入から1年近くたち、最近は30分立っていても全く気になりません。会議で足腰が鍛えられるなんて、何となくお得な感じがしますね。■

▶仕事でスノーフェスティバルへ行ってきました。写真を撮りながら会場をまわっていると、なんと目の前にアルパカが！モフモフな毛並み！思わずシャッターを切っていました。仕事を終え、最後にアルパカと触れ合いに行くと、そこにはもうアルパカはいませんでした…。㊦

読者の声

▶2月号の特集「蝶々効果」を読みました。私と夫は学生時代、江別の大学に通い、街が気に入っていたので、江別に家を建てました。学生にとって魅力と思い出溢れる街は、時に大人になっても愛着のある、住み良い街になるのですね。
▶若い人の記事も増えて、江別が元気なまちだと感じます。若い人たちがもっと広報を読んだ方がよいと思うので、なにか若い人に読んでもらえる方法を考えてほしいです。